

人の世に浄土を実現する

2007年4月24日

證嚴法師

最初に貴財団に対し、このように名誉ある賞を賜りましたことに私個人のみならず、Tzu Chi財団のメンバー一同、心より感謝申し上げます。Tzu Chiが成し遂げたことは、私個人のみの業績ではありません。メンバー全員が精進した結果です。庭野平和賞は世界の平和に多大な貢献を成してこられました。私はより良い世界を築こうと言う、皆様のご努力と献身に深い尊敬と賞賛の念を表明したいと存じます。人間の精神の浄化と世界の調和は、釈尊の遺された偉大な遺産であり、釈尊の全ての弟子たちの使命でもあります。この事は、人間が引き起こした混沌（無秩序）の時代において、特に真実であり、弟子たちはこの時期にこそ、この世に浄土を構築すべく精進しなければならないのです。

人類の歴史始まってこの方、人々は数限りない文明の盛衰と、多くの残酷で不必要的戦争を体験してきました。我々人間は、貪欲から永きに渡りたくさんの生き物を殺し、生態系を破壊してきました。この破壊行為は滅亡の時代へとまっしぐらに進んでいます。この事実を目の当たりにするにつけ、この地球を救うにはもう手遅れではないか、と心配することも多々あります。

法華経によれば、お釈迦様は混沌（無秩序）の時代に顕現される、と釈尊は説いて折られます。混沌の時代には、5種類の混沌が存在する。すなわち、生き物の混沌、心の混沌、認識の混沌、命の混沌、最後は世界の混沌であります。このような時代には、貪欲が人間の心を捉え、その結果は絶望的です。私たちが住んでいるこの世界に起きている様々な人間の問題と、自然災害は、人間の貪欲によって引き起こされています。いったい私たちはどのようにすれば素直で広い心を保つことが出来るのでしょうか。どのようにして他者や自然に対する憎しみのない、人間同志や自然がお互いに調和の取れた生き方をすることが出来るのでしょうか。そのような生き方ができれば、この世に浄土を実現できるにちがいありません。Cheng Yen ならびにTzu Chi のボランティアは、釈尊の遺産である、大乗仏教の教えを実生活に生かそうと願って活動しています。私たちが深く信じているのは、人類が迷っている時であるからこそ菩薩の到来するチャンスであり、混沌（無秩序）の世の中であるからこそ、この世に浄土を実現するチャンスが与えられたのだ、と言うことです。社会を変革するためには、まず私たちが自分自身を浄化し、地球の汚れを取り除き、その上でこの世に浄土を築く必要があるのです。私たちの死後にお釈迦様の天国は実現す

るのだ、と待ち望む事はありません。そのように数えられないほど遠い未来を待ち望む必要はないのです。

大乗仏教は釈尊の遺産

Long Discourse 経典によれば、釈尊が悟りを開かれる以前、彼は弟子たちに次のように言いました。「私が悟りを得た後に私が教えた全ての經典と教義は、あなた方にとて長く保つべき教えであり究極の真理である。」釈尊は生まれ変わりの必要なない究極の悟りに到達されたにもかかわらず、彼の教えと哲学は仏教徒にとって守るべき永遠の法となるだろう。釈尊の教えは2千年以上も語り継がれ、その經典は中国、日本、その他の国々に伝播し、多くの異なる宗派や様々な解釈や修行方法を生み出しました。しかし、いかに宗派が違い、解釈が異なるとしても、一つ変わらない事は、人生の苦しみから脱却し悟りを得ることを目的とする、と言うことです。聖なる法華經が教えるように、「人生をより良く生きることによってのみ、釈尊のような究極の悟りを得る事が出来るのです。」私たちは全ての生きとし生けるものに対し分け隔てなく、わたしたちの智恵を分かち合い、利他の行いで自分を浄化すれば、永遠の覚醒と悟りを得る事が出来るのです。

“Divine Immeasurable Meanings”經典によれば、釈尊がご自身の悟りが近いことを予言し、何か質問はないか、と弟子たちに問われたのです。そこで、the Great Divine 菩薩が釈尊に質問しました。「仏の究極の智恵にはどのようにすれば到達できるのでしょうか？」釈尊は答えました。「Great Divine 菩薩は重要で深遠な質問をしました。仏の覚醒を達成しようと望むならば、まずあなたは人々を悟りに導き、彼らを抱擁し、全ての生きとしいけるものを支援し、彼らの苦しみをやわらげ、そしてかれらに無上の歓びを与えることです。この大いなる慈悲を達成すれば、究極の悟りの第一段階を達成したと言えるでしょう。」未来の弟子たちへの釈尊の遺産は、この世の苦しみをやわらげるために彼らが精進することです。そして大いなる愛をもって人々を啓蒙し、彼ら自身の智恵の覚醒を達成できるように、彼らの魂を浄化することです。そしてついには、人間が最初から持っている無知を消し去り、彼らが仏の究極の悟りに入る事が出来るよう、望むものです。

衰退の時代には、覚醒のみを追及してはならない

釈尊が悟りを得られた後に言わされた。「仏教は次の三つの段階を通るだろう。すなわち、正法の時代、像法の時代、末法の時代、である。末法の時代になると、世界は災難にあふれ、戦争が続き、火災が続き、酷い洪水が起きるだろう。お釈迦様の無上の智恵が時代を超えて受け継がれ、人間の苦悩の変遷を見通し、このような災難を避ける方法を示し、

悟りの境地に至る道を教えてくれます。彼はわたしたちが至高の大乗仏教を成就することを期待しておられます。現在の社会を見渡すと、絶え間ない戦争、大地の崩壊、誘惑に負ける人々、このような腐敗は本当にわたしたちを苦しめます。釈尊の信奉者として、わたしたちは自分たちだけの悟りを求めてはなりません。お釈迦様の大いなる愛と智恵をこの世に顕現し、全ての人々を照らし、彼らが全て永遠の智恵を実現するまで努力しなければなりません。